
「ファロー四徴症に対する左心室拡張末期容積の成長予測因子の推定」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医大国際医療センター 臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007年4月1日から2022年12月31日の期間に埼玉医大国際医療センターを受診し、ファロー四徴症と診断され、「ファロー四徴症修復術」を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ファロー四徴症修復術には適切な心室の容積が必要と言われており、ある程度の体格の成長を待ってからファロー四徴症修復術が可能かどうかを判断しています。本研究では、乳児期早期の心室容積もしくは僧帽弁輪径から、将来的な心内修復時の心室容積が推定可能かどうか、を明らかにすることです。

3. 研究期間

病院長の許可後～ 2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2023年11月01日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者カルテから得られる性別、染色体異常の有無、合併奇形の有無、1か月時と心内修復術時の年齢、体重、体表面積、心エコー検査での左室拡張末期容積、僧帽弁輪径、心臓カテーテル検査での左室拡張末期容積、肺動脈成長指数、肺血管抵抗。最終ファロー四徴症修復術後の生死、NYHA、血清BNP値、心内修復術後のカテコラミンインデックス、人工呼吸器期間、ICU滞在日数、全入院期間、再手術歴などをカルテ上から収集します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医大国際医療センターにおいて、研究責任者である平野 暁教が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さ

んのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

フォロー四徴症と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者

埼玉医大国際医療センター 小児心臓外科 講師 平野暁教

研究実施者

埼玉医大国際医療センター 小児心臓外科 教授 帆足孝也

埼玉医大国際医療センター 小児心臓外科 講師 平野暁教

埼玉医大国際医療センター 小児心臓外科 助教 永瀬晴啓

埼玉医大国際医療センター 小児心臓外科 助教 淵上裕司

埼玉医大国際医療センター 小児心臓科 講師 葭葉茂樹

4. 試料・情報の管理責任者

当院単独の研究かつ検査・解析等もすべて自機関で行う（国内の外注検査等を除く）場合

埼玉医大国際医療センター 病院長

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医大国際医療センター 小児心臓外科 平野 暁教

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4128（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：hirano.akinori@gmail.com

○研究課題名：フォロー四徴症に対する左心室拡張末期容積の成長予測因子の推定

○研究責任者：埼玉医大国際医療センター 小児心臓外科 平野 暁教